

5	下水道局	良好な水環境と環境負荷の少ない都市を実現する施策																										
事業概要	<p>隅田川(両国橋付近)の水の約 6 割が、下水処理水であるなど、下水道は良好な水環境づくりに大きな役割を果たしている。</p> <p>都民の皆さまが水と親しむことができる快適な水辺空間を創出するため、合流式下水道の機能を強化する取組や赤潮の発生要因となるちっ素やりんを削減する高度処理を積極的に推進していく。</p> <p>また、下水処理に伴い発生する温室効果ガスについて、新たな技術の開発・導入などにより計画的に削減するなど、環境負荷の少ない都市の実現に貢献していく。</p>																											
これまでの経過	<p>【合流式下水道の改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 降雨初期の特に汚れた下水を貯留する施設を整備し、合流式下水道の機能を強化 ・ 河川や海との接続部である雨水吐口で、ごみなどの流出抑制対策を実施 <p>【高度処理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東京湾の富栄養化の一因であるちっ素とりんを同時により多く削減できる高度処理施設の整備を推進 ・ 既存施設の改造と運転管理の工夫を組み合わせ、ちっ素又はりんの削減効果を高める準高度処理を導入 <p>【地球温暖化対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の下水道をリードする取組を行い、平成 32 (2020) 年度までに平成 12 (2000) 年度比で 25%以上の温室効果ガス排出量削減を目指し対策を推進 ・ 省エネルギー型機器の導入、運転管理の工夫などにより消費電力量を削減 ・ 下水の処理過程で発生する、二酸化炭素 (CO₂) の 310 倍の温室効果を持つ一酸化二窒素 (N₂O) の排出量を第二世代型焼却炉の導入などにより削減 																											
現在の進行状況	<p>【合流式下水道の改善】</p> <table border="1" data-bbox="368 1160 1364 1240"> <tr> <td>区部下水道事業の取組</td> <td>目標数値</td> <td>平成 21 年度末</td> <td>平成 22 年度見込</td> </tr> <tr> <td>貯留施設整備率</td> <td>360 万 m³</td> <td>23%</td> <td>27%</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 22 年度の主な内容 小菅水再生センター雨天時貯留池など <p>【高度処理】</p> <table border="1" data-bbox="368 1317 1364 1397"> <tr> <td>区部下水道事業の取組</td> <td>目標数値</td> <td>平成 21 年度末</td> <td>平成 22 年度見込</td> </tr> <tr> <td>高度処理割合</td> <td>634 万 m³/日</td> <td>7%</td> <td>14%</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 22 年度の主な内容 三河島水再生センター準高度処理施設の整備など <p>【地球温暖化対策】</p> <table border="1" data-bbox="368 1473 1364 1592"> <tr> <td>下水道事業の取組</td> <td>目標数値</td> <td>平成 21 年度末</td> <td>平成 22 年度見込</td> </tr> <tr> <td>下水道事業からの温室効果ガス排出量の削減率</td> <td>25%以上削減</td> <td>12%</td> <td>12%</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 22 年度の主な内容 葛西水再生センター第二世代型焼却炉の整備に着手など 				区部下水道事業の取組	目標数値	平成 21 年度末	平成 22 年度見込	貯留施設整備率	360 万 m ³	23%	27%	区部下水道事業の取組	目標数値	平成 21 年度末	平成 22 年度見込	高度処理割合	634 万 m ³ /日	7%	14%	下水道事業の取組	目標数値	平成 21 年度末	平成 22 年度見込	下水道事業からの温室効果ガス排出量の削減率	25%以上削減	12%	12%
区部下水道事業の取組	目標数値	平成 21 年度末	平成 22 年度見込																									
貯留施設整備率	360 万 m ³	23%	27%																									
区部下水道事業の取組	目標数値	平成 21 年度末	平成 22 年度見込																									
高度処理割合	634 万 m ³ /日	7%	14%																									
下水道事業の取組	目標数値	平成 21 年度末	平成 22 年度見込																									
下水道事業からの温室効果ガス排出量の削減率	25%以上削減	12%	12%																									
今後の見通し	<p>経営計画 2010 に基づき、引き続き各事業を着実に進める。</p>																											
問い合わせ先	下水道局 計画調整部 計画課、事業調整課	電話	03-5320-6608																									